

学内における教職員・院生（研究員を含む）支援のためのアンケート調査

2010年2月18日

正木裕（総務担当理事）

連絡先：総合調整室（内線 2601）

本学では研究者・職員・院生等が各々の立場でその能力を最大限に発揮できるよう、環境の整備を推進したいと考えています。その一環として、各々の立場で果たすべき役割と家族的責任の両立について、特に育児支援の観点からアンケート調査を実施することにしました。

みなさまからのご回答を参考にして、具体的な取組みを検討したいと思いますので、お忙しいところを恐縮ですが、ぜひともご回答いただきますようお願い申し上げます。

アンケート回収期日： 2月25日（木）13時

回収場所： 教員・院生・研究員の方 ⇒ ご所属の学部・研究科支援室まで
職員の方 ⇒ ご所属の事務課の統括補佐まで
注）アンケートを入れる密閉した袋を準備していますので、それに入れて下さい。

個人情報の保護：この調査で得た情報はすべて統計処理をおこない、個人情報については守秘します。また、統計処理後の情報についても、上記の目的以外にはいっさい使用しません。

【以下の問いについては、特に指示のないかぎり、あてはまるもの一つに○をつけて下さい】

1. 性別 a. 男性 b. 女性
2. 年齢 a. 20歳代 b. 30歳代 c. 40歳代 c. 50歳代以上
3. 区分 a. 研究職（教授・准教授・講師・助教・助手ほか）⇒ a1. 常勤 a2. 非常勤
 b. 職員（事務系・技術系ほか）⇒ a1. 常勤 a2. 非常勤
 c. 研究員（ポスドク）
 d. 大学院生（博士後期課程）
 e. 大学院生（修士課程）
4. 主として働く（学ぶ）キャンパス a. 中百舌鳥 b. 羽曳野 c. りんくう
5. 片道の通勤・通学時間についてお答えください。
 a. 30分未満 b. 30分～1時間未満
 c. 1時間～1時間30分未満 d. 1時間30分以上
6. 通勤・通学の形態についてお答えください。
 a. 徒歩・自転車など b. バス
 c. バスと電車 d. 電車
 e. 自家用車 f. その他（ ）
7. 通常の通勤・通学状況についてお答えください。
 （ア）勤務時間
 a. 9時～17時45分 b. 自由裁量制
 c. その他（ ）
 （イ）勤務日
 a. 週5日 b. その他（週 日）

8. 現在、未就学のお子様がいっぱいますか。また、ご自身か配偶者の方に出産予定がありますか。あてはまるものに、○をつけて下さい。

- a. いる ⇒ 問い9へ
- b. いないが出産予定がある ⇒ 問い9へ
- c. 未就学児はおらず、出産予定もない ⇒ 4ページの問い15へ

9. お子様は何歳ですか。あてはまる年齢すべてに○をつけて下さい。

- a. 0歳 b. 1歳 c. 2歳 d. 3歳
- e. 4歳 f. 5歳 g. 6歳
- h. 出産予定 (年 月)

10. 現在の保育方法について、あてはまるものに○をつけて下さい。

出産予定の方は、出産後（ご本人就労継続の場合は産休後）に予定している保育方法に○をつけて下さい。

- a. 認可保育園を利用 b. 認可外保育園を利用
- c. 幼稚園を利用 d. 自分が育児休暇を取得して保育
- e. 自分が退職して保育 f. 配偶者が保育
- g. 自分もしくは配偶者の親が保育
- h. その他 ()

11. 上の問い10でa～cとお答えの方にお尋ねします。現在、未就学のお子様がおられず、出産予定のみの方は次の問い12へお進み下さい。

(ア) お子様一人を預ける費用は、毎月いくらかかっていますか。

- a. 1万円未満 b. 1万円～2万円未満
- c. 2万円～3万円未満 d. 3万円～4万円未満
- e. 4万円～5万円未満 f. 5万円～6万円未満
- g. 6万円～7万円未満 h. 7万円以上

(イ) 現在利用している施設等の良いところは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- a. 家から近い b. 通勤・通学の途中にある
- c. 延長保育等で遅くまで預けられる d. 保育料が安い
- e. 保育内容・保育士が安心 f. 臨時保育などに対応してくれる
- g. その他 ()

(ウ) 現在利用している施設等のご不満な点は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- a. 家から遠い b. 通勤・通学経路から離れており利用しづらい
- c. 保育時間が短い d. 保育料が高い
- e. 保育内容・保育士があまり良くない
- f. 日曜・祝日などに預けることができない
- g. その他 ()

12. 大学のキャンパス内で保育室が設置された場合、利用したいと思いますか。

- a. 利用したい b. 料金・時間等の条件が合えば利用したい
- c. 利用しない ⇒ 4ページの問い14へ
- d. わからない ⇒ 4ページの問い15へ

13. 上の問い12で「a. 利用したい」または「b. 条件が合えば利用したい」とお答えの方にお尋ねします。

(ア) 利用したいと思うものすべてに○をつけてください。

- a. 通常保育 b. 延長保育)
c. 一時保育(土・日・祝日を含む d. その他()

(イ) いつから利用したいとお考えですか。

- a. 平成23年度 b. 平成24年度 c. 平成25年度以降
d. 時機をみて(理由)

(ウ) 保育時間帯のご希望についてお尋ねします。

①朝の開室時刻は、何時ごろを希望しますか。

- a. 8:00 b. 8:30 c. 9:00
d. その他()

②夕方の閉室時刻は、何時ごろを希望しますか。

- a. 17:00 b. 17:30 c. 18:00
d. 18:30 e. その他()

(エ) 保育料はいくらぐらいが妥当だと思いますか。

①通常保育の場合、月極めであれば……

- a. 3万円未満 b. 3万円～4万円未満
c. 4万円～5万円未満 d. 5万円～6万円未満
e. 6万円以上

②一時保育の場合、一時間について……

- a. 800円程度 b. 1000円程度 c. 1500円程度
d. 2000円程度 e. その他()

(オ) 上の(ア)で「c. 一時保育」に○をつけた方のみご回答ください。

①一時保育を使う頻度はどれくらいですか。

- a. 定期的に週2・3回程度 b. 定期的に月1～4回程度
c. 不定期(回程度/年)
d. その他

②どのような時に利用したいとお考えですか。

- a. 勤務日・勤務時間のみ b. 授業・研究時間のみ
c. その他の場合()

③土曜日の保育について、どのようにお考えですか。

- a. 平日と同様に運営してほしい b. 特に必要ない
c. その他()

④日曜日・祝日の保育について、どのようにお考えですか。

- a. 平日と同様に運営してほしい b. 特に必要ない
c. その他()

14. 上の問い12で「利用しない」とお答えの方に、その理由をお尋ねします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- a. 現在の保育のかたちで満足している
- b. 現在の保育に子どもがなれている
- c. 大学まで連れてくるのが困難
- d. 学内では不安である
- e. その他 ()

15. 以下の支援のなかから、(ア) あれば良いとお考えのもの、(イ) あれば利用したいものについて、それぞれ5位まで選び、記号をお答えください。
また、「1. その他」の場合には、() 内に具体的にその内容を記入して下さい。

(ア) あれば良いと思うもの : 1位 () 2位 () 3位 () 4位 () 5位 ()

(イ) あれば利用したいもの : 1位 () 2位 () 3位 () 4位 () 5位 ()

- a. 仕事・研究と家庭責任の両立のための相談窓口
- b. 女性研究者のキャリアのためのメンター制度
- c. 産前産後や乳幼児がいる場合の、勤務時間や授業担当への配慮
- d. 産前産後や乳幼児がいる場合の、研究補助員・事務補助員の雇用
- e. 産前産後や乳幼児がいる場合の、在宅勤務への配慮
- f. オムツをかえることができるトイレ
- g. 授乳や搾乳等ができるスペース
- h. 保育所への入所待機児童のための保育室
- i. 一時保育を行なう保育室
- j. 学童保育サービス
- k. 学外での保育にかかわるサービスへの支援 (バウチャーの発行など)
- l. その他 ()

16. その他、育児支援に限らず、教育・研究活動を進めていくうえで、障害となっていること、あれば良いと思う環境設備、サービス、支援などがあれば記入して下さい。

ご協力ありがとうございました

アンケート調査結果の概要

女性研究者支援センター

2010年11月20日

今年2月に全学で実施したアンケート調査について、結果の概要をお知らせします。

この調査は、本学が3月、文科省科学技術振興調整費「女性研究者支援システム改革プログラム」に申請するにあたり、支援に対する学内ニーズを把握するために行ったものです。全学の教職員・院生・研究員を対象とするこのようなニーズ調査は、本学ではこれが初めての取り組みでした。下記（1）にあるように、調査期間が非常に短かったにもかかわらず、対象者の半数近くの回答がありました。

この調査結果を用いた本学の『元気！生き生き女性研究者・公立大学モデル』は、5月に採択を受け、その中心的な実施機関として「女性研究者支援センター」を開設しました。10月にセンターのHPを立ち上げましたので、回答結果をご報告いたします。今後、女性研究者支援センターとして様々な支援をしていくにあたり、下記の結果を参考にさせていただきます。

すでに形になりつつある一つの成果は、来年4月に中百舌鳥キャンパスに保育施設を開設できることです。アンケート調査では、多くの方々が保育施設の設置を歓迎して下さることが明らかになり、大学による保育施設開設に協力している当センターとしては、大変嬉しい結果でした。また、保育施設にかかわる回答からは、この支援が女性研究者のためだけではなく、男性のための支援にもなることが分かり、これもセンターにとって嬉しい結果です。

また、この結果全体については、既に奥野理事長にご報告いたしました。今後、この調査結果を活かし、本学の教職員・学生が生き生きと働き学べる環境整備につなげていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

女性研究者支援センター

センター長 田間泰子、スタッフ一同

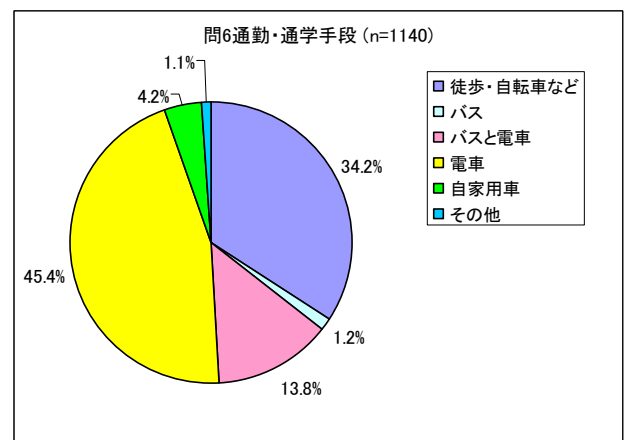
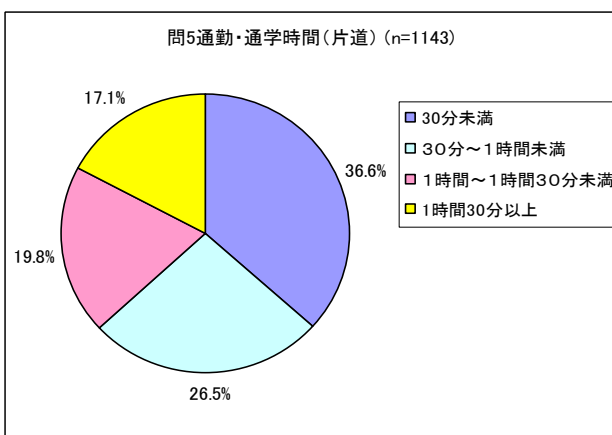
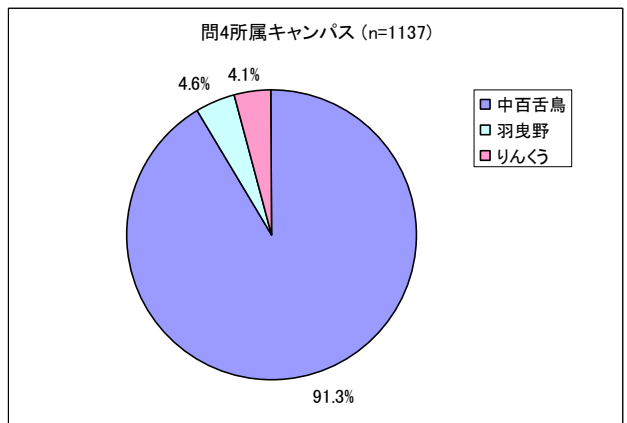
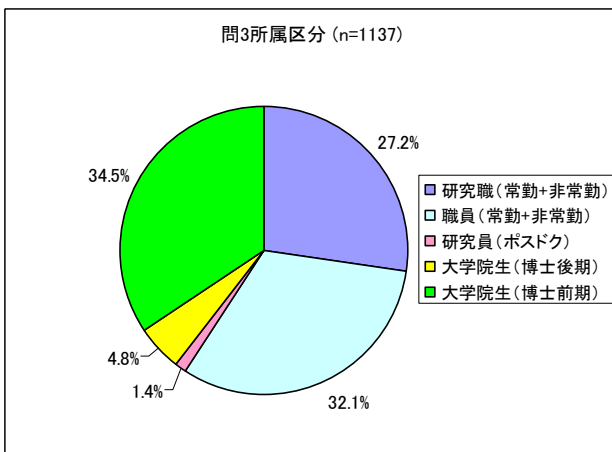
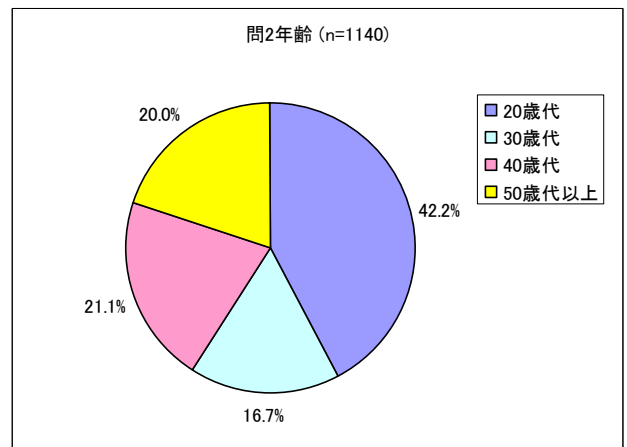
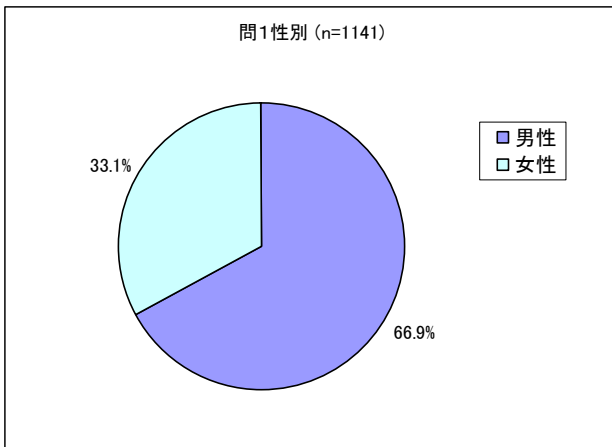
1. 配布と回収

- ・配布：全キャンパスの、教員・職員(非常勤を含む)・研究員・院生。合計2698票。
各部局・部署の支援室および事務室経由。留め置き。
2010年2月19日～25日(実際には3月5日まで回収あり)。
- ・回収：支援室および事務室経由で、封筒を回収。持ち込みもあり。
1150票(全て有効回答)。回収率42.6%。

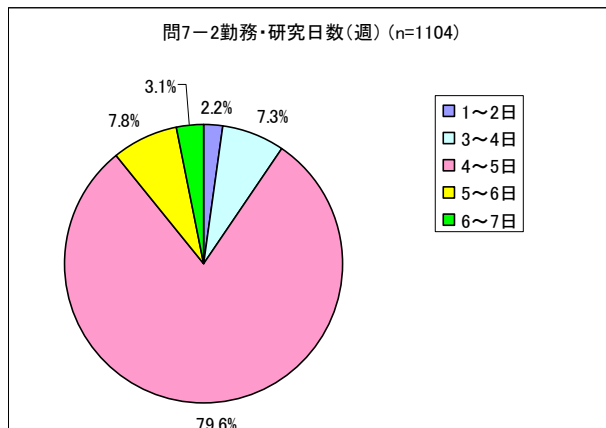
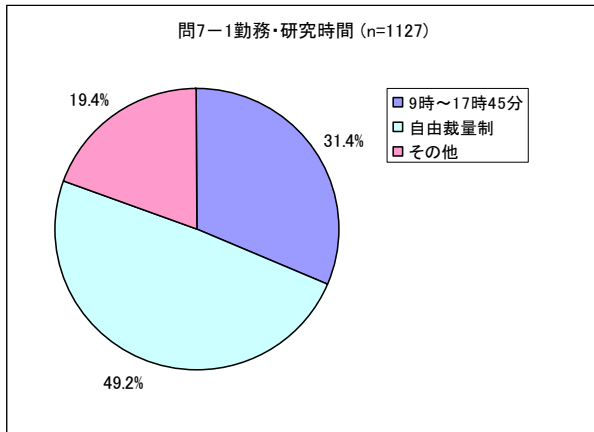
2. 集計結果のポイント

2-1. 回答者の属性

・母集団との関係……中百舌鳥キャンパスが多数となった。

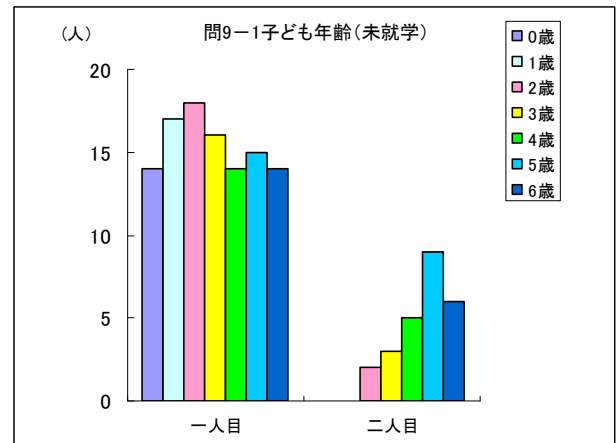
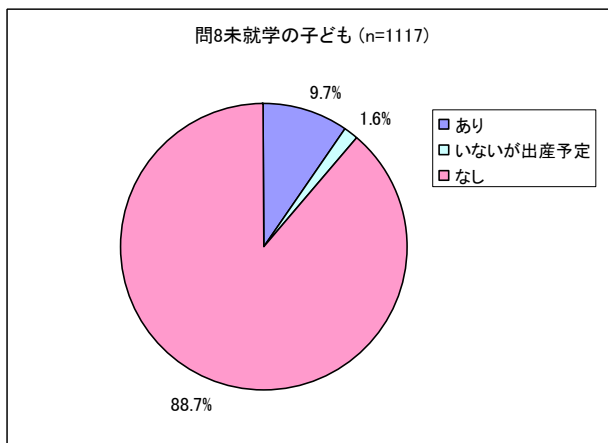


「学内における教職員・院生（研究員を含む）支援のためのアンケート調査」結果

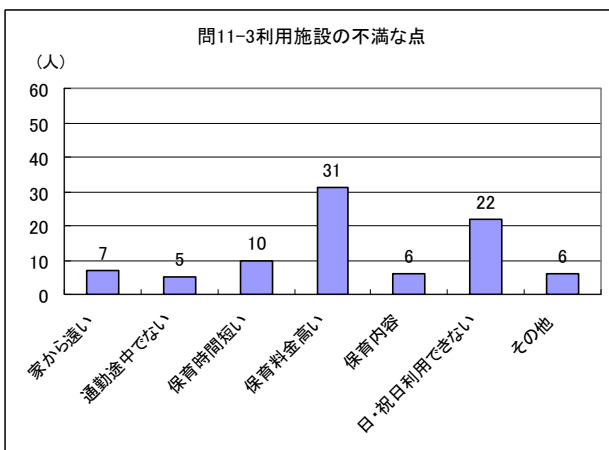
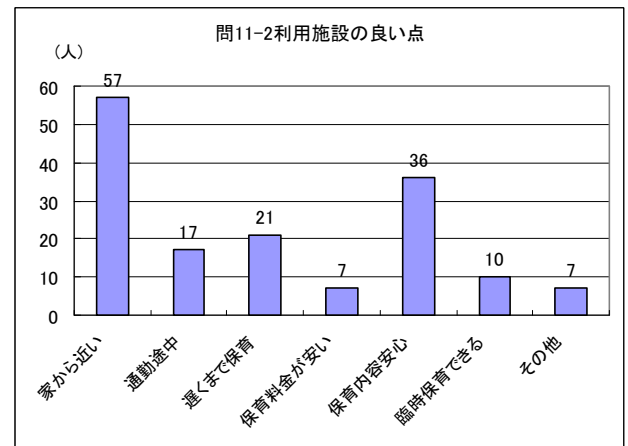
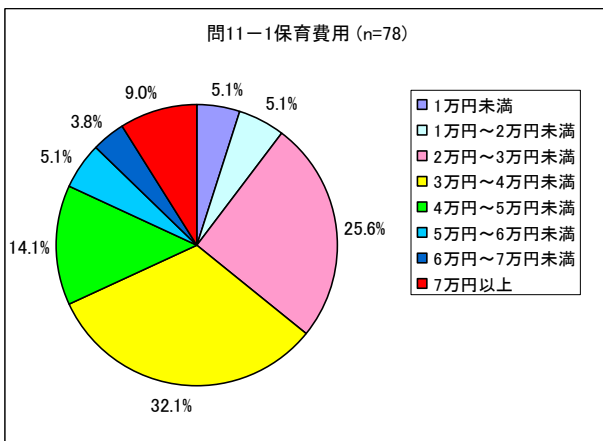
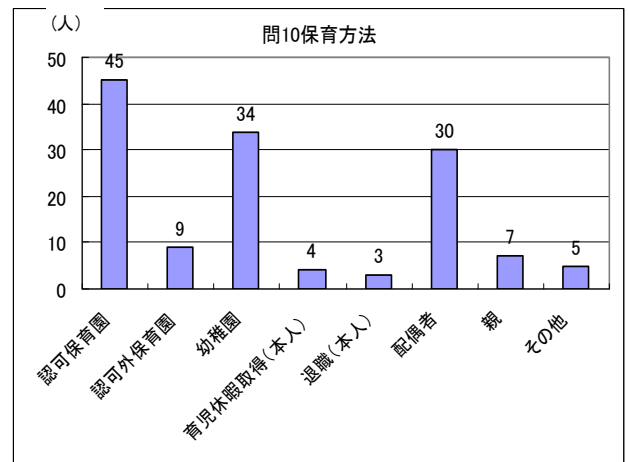
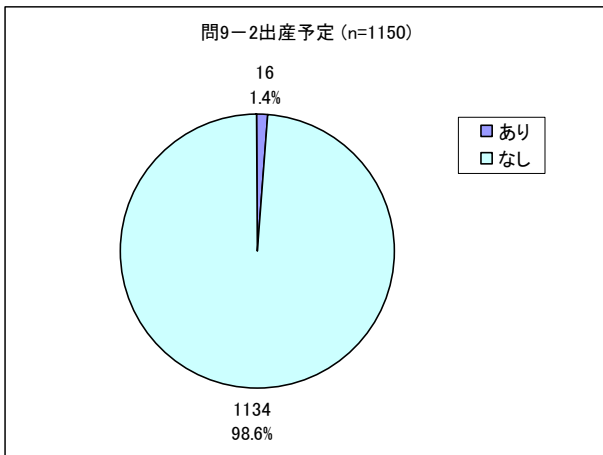


2-2. 育児の状況

- ・「未就学児童あり」・「出産予定あり」……121人（回答者の11.3%）。
- ・保育方法……「配偶者」「本人退職」「幼稚園」 55%。
「保育園」 44.3%。
「本人育休」 3.3%。
- ・現在かかっている保育費用……2～4万円/月。
- ・現在の利用施設の良い点……家からの近さ・保育内容の良さ。
- ・現在の利用施設の不満な点……保育料金の高さ・日祝日に利用できない。



「学内における教職員・院生（研究員を含む）支援のためのアンケート調査」結果



2-3. 学内保育施設の利用について

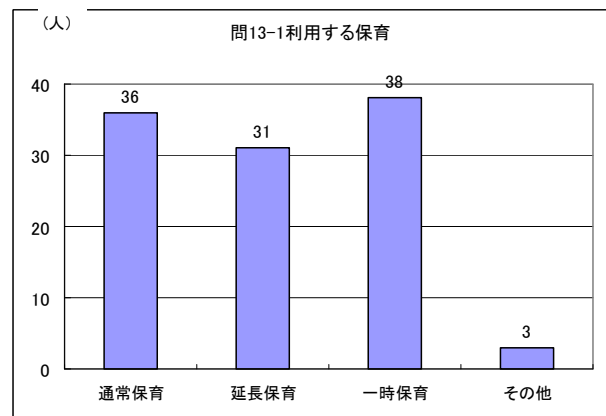
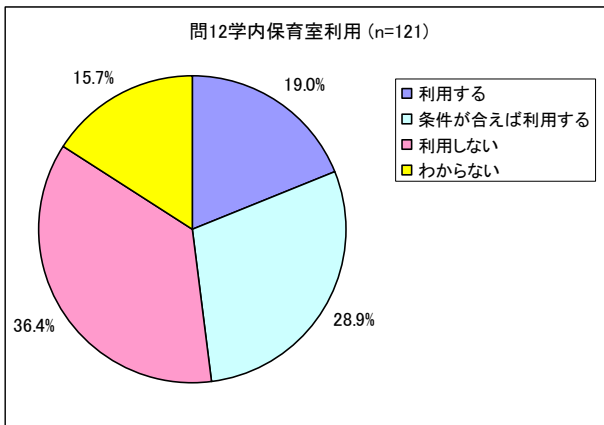
- ・保育施設の利用可能性……「利用する」「条件が合えば利用する」 計58人。
- ・そのうちの6割が通常保育を希望。一時保育・延長保育の希望も多。

2-3-1. 学内の保育施設を「利用する」「条件が合えば利用する」人々について（58人。但し下記全てに回答してはいない）

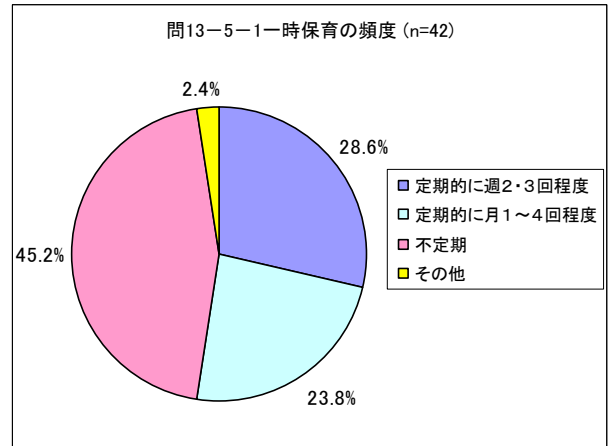
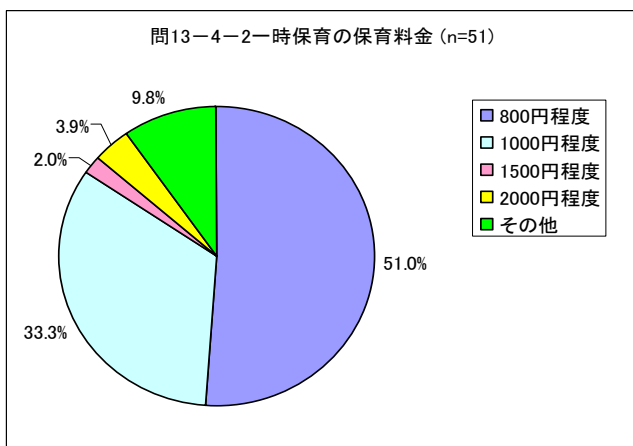
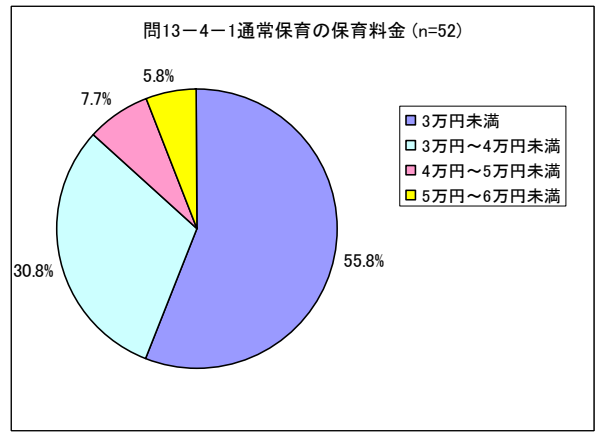
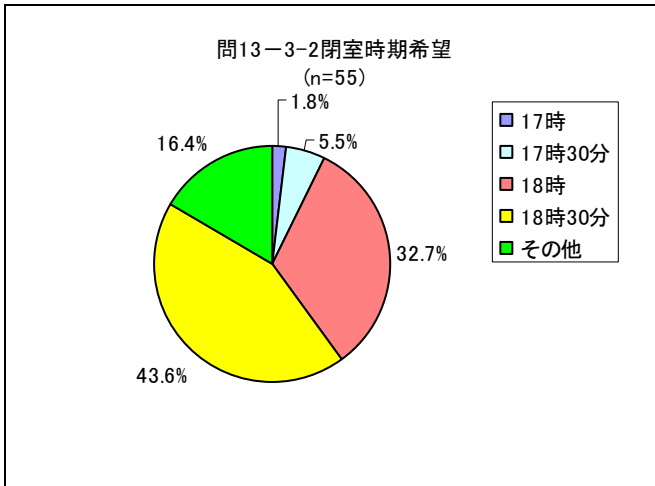
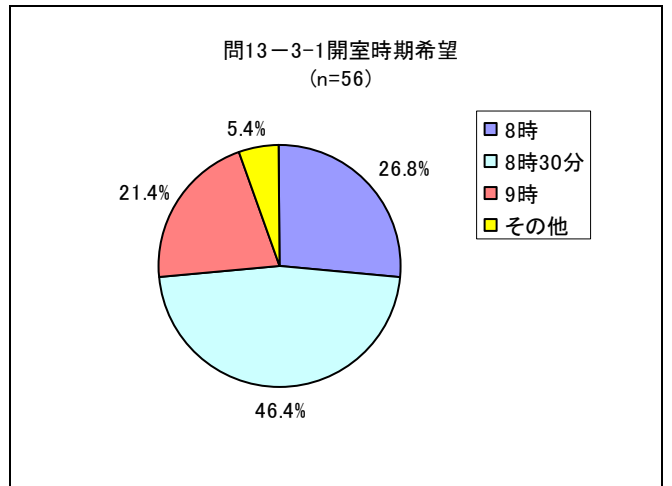
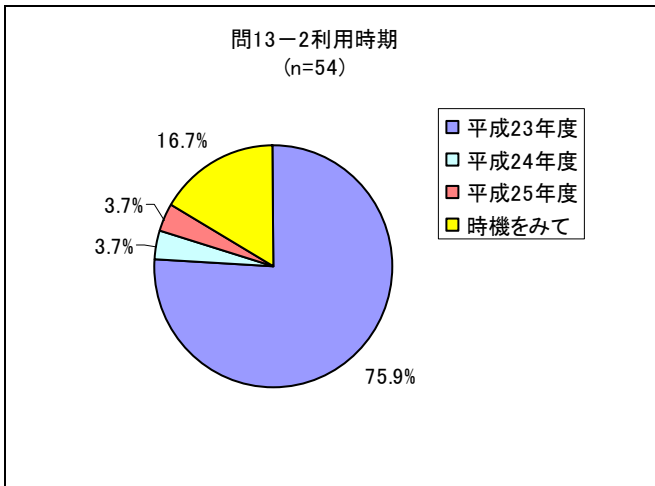
- ・属性……女性研究者よりも、男性研究者が多い。院生のニーズも多い。
- ・保育の利用時期……4人に3人が「平成23年度」と回答。
- ・希望する開室・閉室時刻（1位）……8時半～18時半。
- ・希望する料金……3万円/月。800円/時間。
- ・一時保育の利用希望……定期的利用 52.4%（22人）、不定期47.6%（20人）。
- ・一時保育の利用時期……勤務日・勤務時間帯のみ 57.5%（24人）。
授業・研究時間のみ 30%（13人）
- ・土曜日の保育……半数となる21人が希望。
- ・日・祝日の保育……半数となる21人が「不要」。

2-3-2. 「利用しない」人々について

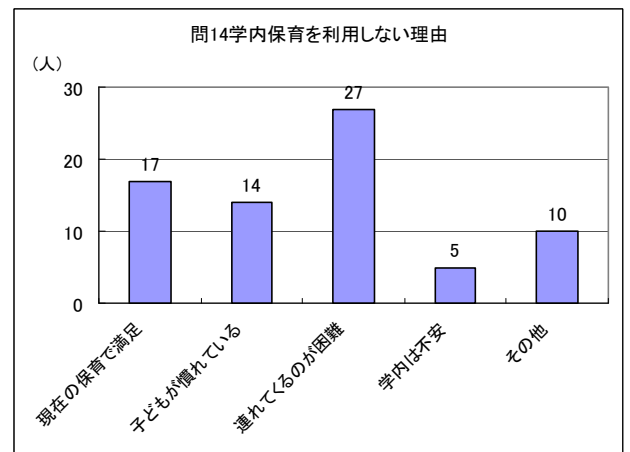
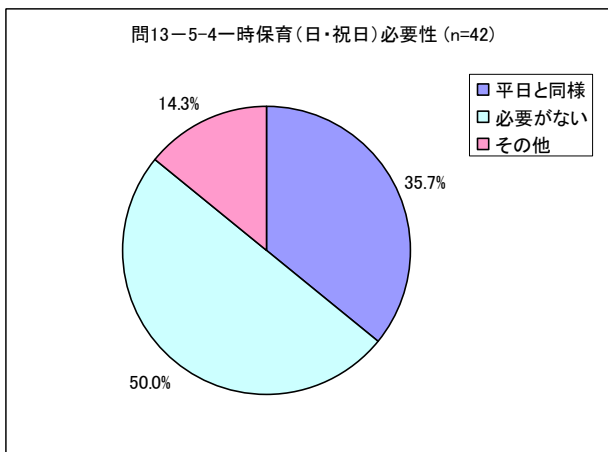
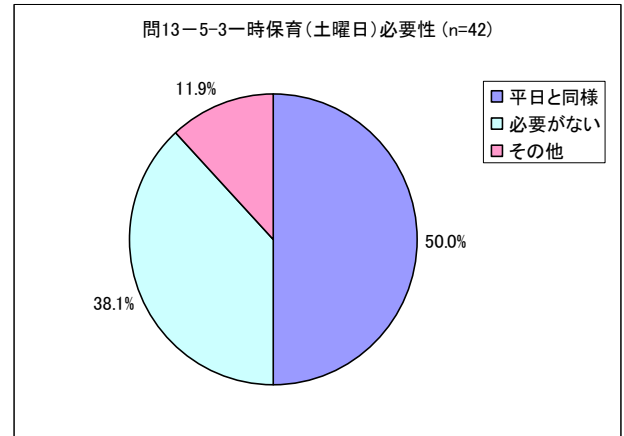
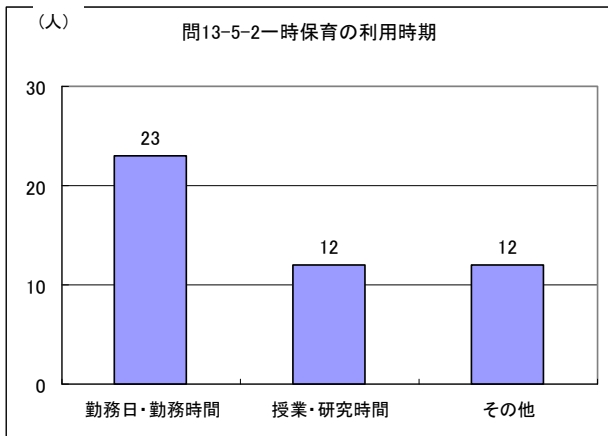
- ・利用しない理由……「連れてくるのが困難」62.8%、「現在の保育で満足」39.5%。



「学内における教職員・院生（研究員を含む）支援のためのアンケート調査」結果



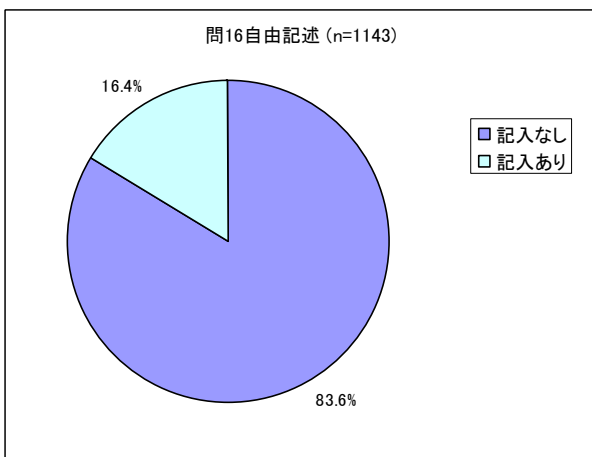
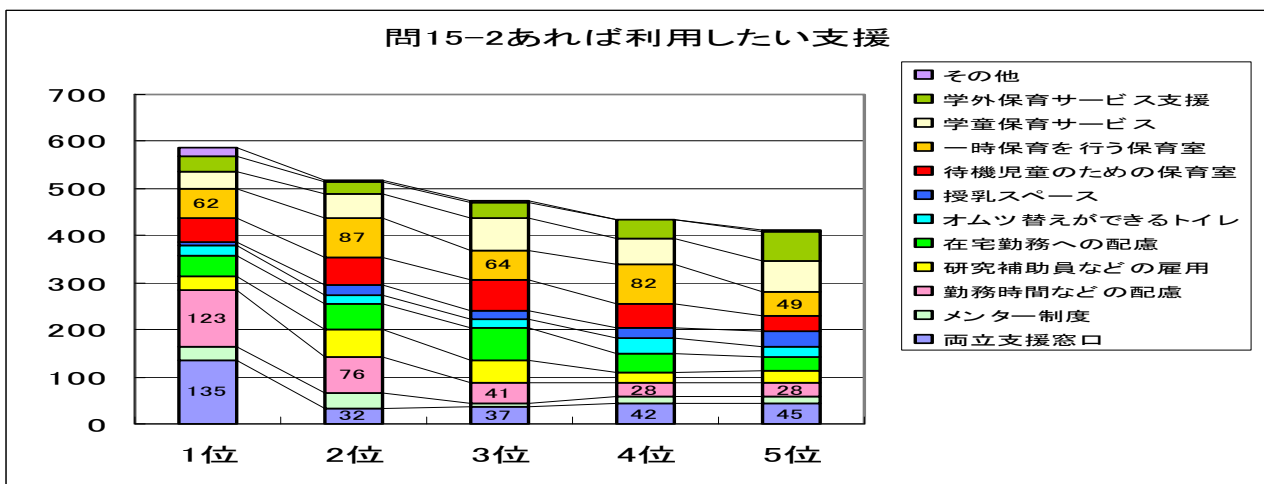
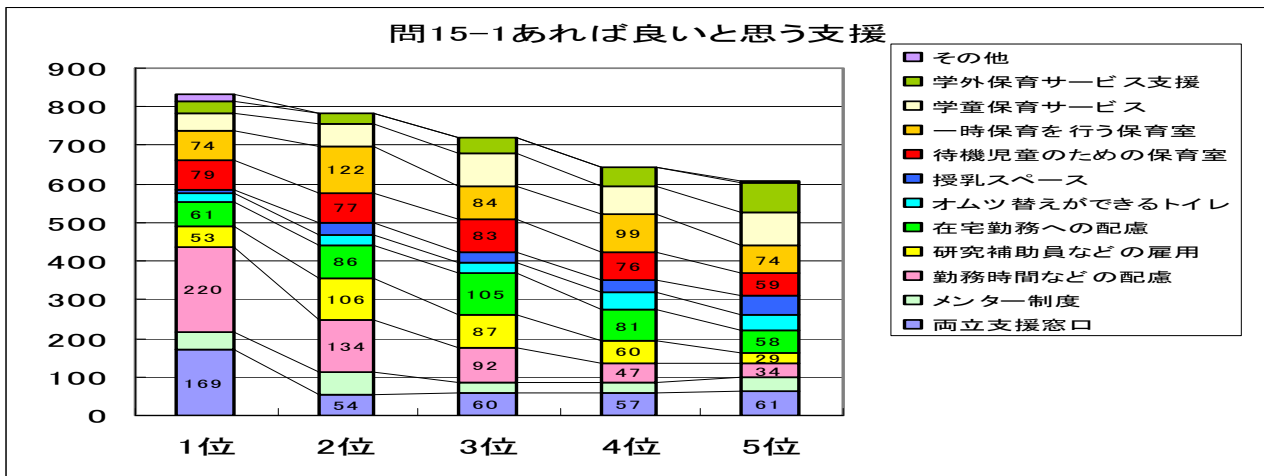
「学内における教職員・院生（研究員を含む）支援のためのアンケート調査」結果



2-4. さまざまな支援へのニーズ(最初の2つの質問は選択肢のなかから上位5つを選んでもらう)

- ・「あればよいと思う支援」……1位として最も回答が多かったのは、「勤務時間配慮」、次に「両立支援のための相談窓口」、その次に「待機児童のための保育室」。2位としての回答の最多票は1位と同じ「勤務時間配慮」であるが、次には「一時保育を行う保育室」となった。
1位から5位まで総合すると、「勤務時間配慮」が最も望まれており(単純に合計すると527)、次に「一時保育を行なう保育室」(453)、「両立支援のための相談窓口」(401)、「待機児童のための保育室」(374)となった。
- ・「あれば利用したい支援」……1位として利用希望があるのは、「両立支援のための相談窓口」(135)、僅差で「勤務時間配慮」(123)であるが、総合すると最多票は「一時保育を行なう保育室」(344)、次に僅差で「勤務時間配慮」(296)と「両立支援窓口」(291)となった。
- ・自由記述……回答者の83.6%が記述。
1位「諸設備」(更衣室・仮眠室・自販機・防犯・冷暖房その他)。
2位「ワークライフバランス」(会議時間・研究の時間・勤務時間への配慮その他)。

「学内における教職員・院生（研究員を含む）支援のためのアンケート調査」結果



【自由記述の内容】(延べ数)

保育室設置	ワークライフバランス	労働環境	設備	教職員・学生支援全般	大学全般	アンケート調査	その他
17	56	29	77	15	6	9	6

以上